

おうめ 市議会だより

No. 260
令和4年(2022年)11月15日
発行 / 青梅市議会
電話番号 / 0428-22-1111(代)

主な内容

7月臨時議会、9月定例議会のあらしみ…	1
市長提出議案の主な内容、議会日誌…	1
令和3年度決算の概要…	2・3
一般質問…	4～7
審議された議案および陳情の議決結果…	8
全員協議会から、特別委員会から…	8
12月定例議会会議予定…	8

令和4年青梅市議会定例会 7月臨時議会・9月定例議会

令和3年度決算全会計を原案どおり認定

… 一般会計および特別会計の実質収支はいずれも黒字の決算 …



令和3年度は、わかぐさ公園、花木園のほか6公園について、老朽化した遊具を更新しています。
写真は、3月に完成した わかぐさ公園複合遊具「ぼうけんツリーハウス」です。
このわかぐさ公園の遊具選定は、小学校や現地でのアンケート調査を実施し、利用者ニーズを反映しました。

7月臨時議会が7月28日に行われ、上程された市長提出議案1件は原案どおり可決されました。
また、9月定例議会は、9月6日から29日までの24日間の期間で行われ、初日の本会議では、議案審議の後、一般質問が始まりました。
一般質問は、9月6日、7日および8日の3日間に行われ、18人の議員が登壇し、市政に関して市長、教育長らと活発な議論を交わしました(4～7面に要旨を掲載)。
上程された市長提出議案は、令和3年度各会計の決算7件、令和4年度補正予算7件、条例9件、人事4件、その他6件で、いずれも原案どおり認定、可決または同意されました。
また、審議された陳情は、趣旨採択3件、不採択5件でした(8面参照)。

市長提出議案の主な内容

■青梅市企業誘致条例の一部を改正する条例(施行日 令和4年10月1日)
市外の企業の誘致および市内の企業の事業拡大をより一層支援するため、所要の規定の整備を行う。

■令和4年度青梅市一般会計補正予算(第5・6・7号)
歳入歳出予算にそれぞれ43億9,922万8千円を追加し、その総額を585億7,266万8千円とする。

【主なもの】

▽原油価格・物価高騰対応高齢者家計支援商品券負担金(高齢者に対し、家計の負担を軽減するため、登録店で使用できる商品券3千円分を支給)
▽子育て世帯生活応援給付金(令和4年5月分の児童手当受給者等に対し、児童1人当たり1万円を支給)
▽個別予防接種実施委託料(高齢者等における季節性インフルエンザ定期予防接種の無償化に伴う増)

■青梅市高校生等の医療費の助成に関する条例(施行日 令和5年4月1日および公布の日)
高校生等を養育している者に対し、高校生等にかかる医療費の一部を助成することにより、高校生等の保健の向上と健全な育成を図り、もって子育ての支援に資することを目的とし、条例を制定する。

■青梅市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例(施行日 公布の日から起算して1年3月を超えない範囲内において規則で定める日)
令和5年11月に予定している新病院の開院に合わせて青梅市立総合病院の名称を変更する。

■青梅市公園条例の一部を改正する条例(施行日 公布の日)
都市計画法にもとづく開発行為により整備された公園1か所を、都市公園として設置する。

■設置する公園
▽馬場公園(師岡町2丁目2番地の1)

■青梅市公園条例の一部を改正する条例(施行日 公布の日)
都市計画法にもとづく開発行為により整備された公園1か所を、都市公園として設置する。

■青梅市公園条例の一部を改正する条例(施行日 公布の日)
都市計画法にもとづく開発行為により整備された公園1か所を、都市公園として設置する。

■青梅市公園条例の一部を改正する条例(施行日 公布の日)
都市計画法にもとづく開発行為により整備された公園1か所を、都市公園として設置する。

議会日誌

【7月】

7月臨時議会

議会期間 7月28日(1日間)

28日 議会運営委員会
本会議(開議、会議録署名議員の指名、議会期間の宣告、諸報告、議案審議、委員会議案審査報告、閉議)
予算決算委員会
東青梅1丁目地内諸事業用地等特別委員会

8日 総務企画委員会

12日 議会運営委員会

30日 議会運営委員会

9月定例議会

議会期間 9月6日～29日(24日間)

6日 議会運営委員会

本会議(開議、会議録署名議員の指名、議会期間の宣告、諸報告、議案・陳情審議、一般質問)

7日 本会議(一般質問)

8日 本会議(一般質問、陳情審議)

9日 予算決算委員合理事会

9日 総務企画委員会

9日 環境建設委員会

15日 福祉文教委員会

15日 予算決算委員会

15日 全員協議会

16日 東青梅1丁目地内諸事業用地等特別委員会

16日 議会運営委員会
本会議(委員会議案・陳情審査報告、議案審議)

21日 総務企画委員会

21日 新設コロナウイルス対策特別委員会

22日 予算決算委員会

22日 予算決算委員会

26日 議会運営委員会

26日 議会運営委員会

29日 本会議(総務企画委員会中間報告、委員会議案・陳情審査報告、閉議)

一般会計歳出決算額 586億1,546万3,466円



令和3年度 決算の概要

議案第14号令和3年度青梅市一般会計歳入歳出決算は、議長を除く全議員で構成する予算決算委員会(迫田晃樹委員長、湖城宣子副委員長)に付託され、9月21日、22日および26日の3日間にわたり審査が行われました。

審査は、担当部から決算概要の補足説明を受けた後、まず歳出について質疑に入りました。続いて歳入についての質疑および総括質疑を行った後、採決した結果、賛成多数で認定すべきものと決しました。

その後、本決算議案は、9月29日の定例議会最終日の本会議において、反対討論、賛成討論が行われた後、採決した結果、賛成多数で認定されました。

予算決算委員会での主な質疑

歳出

議会費・総務費・消防費

青梅市LINE公式アカウントのリニューアル
問 経緯、運用の基準および今後の展開について伺う。
答 以前から新型コロナウイルス感染症の発生に活用していたが、市と市民との双方向性のコミュニケーションを実現するため、今回リニューアルした。令和4年3月31日時点で、4万3815人の方に登録いただいております。「青梅市LINE公式アカウント運用方針」を定めて運用している。

今後は、市の施策等に対して市民の意見をより一層投稿しやすい形での運用を心がけ、市民の満足度向上に寄与していきたい。

選挙における感染者および濃厚接触者の投票方法
問 新型コロナウイルスの感染者および濃厚接触者の投票方法について伺う。
答 宿泊施設または居室もしくはこれに相当する場所から外出しないことの求めを受けた感染者については、特例郵便等による投票の対象となる。濃厚接触者は、公共交通機関を使わないなどの感染対策に配慮しながら、投票所で投票していただいている。

国民の権利である大切な一票が有効に使われるよう今後も努めてまいりたい。

民生費・衛生費・労働費
子どもの居場所づくり
問 子どもの居場所づくりへの取り組みについて伺う。
答 子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育て支援センター、各市民センター、文化交流センター、総合体育館、公園、児童遊園など既存施設を活用し、子どもたちが身近で安心、安全に過ごせる居場所を確保している。コロナ禍においていかに事業を実施していくかに苦慮しており、このような状況下で新たな取り組みはないが、継続していくことが大事であると考えている。

スズメバチ等の巣除去費補助金
問 補助金の内容、利用方法および評価について伺う。
答 従来、防護服の貸し出しを行っていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、巣の除去費用の一部補助を行った。土地や建物の所有者、管理者などが蜂の駆除を専門業者に依頼した場合、市役所に申請し、実績報告書、請求書、領収書を提出いただくことにより、1万円を上限に補助を行うものである。この補助事業により、市民のスムーズな被害を一定程度防止する一助となったものと評価している。

**農林水産業費・商工費
土木費・災害復旧費**
市道や河川等における対策
問 近年の異常気象への対策について伺う。
答 台風のようにあらかじめ予測ができる場合は、事前に配布できる土のうの準備や待機職員の手配、道路側溝等の清掃に努めている。また、危険箇所のパトロールの実施、冠水や倒木が懸念される箇所の修繕等も適

宜行っている。なお、道路等を効率的に維持管理していくために、広報おつめや市のホームページ等にて市民へ情報提供を呼びかけ、危険箇所の早期発見および応急対応などを図っている。

教育費
青梅学の実施
問 青梅学について、教育委員会ではどのように捉えているか伺う。
答 市内に在学する小学5年生を対象とし、青梅市の自然、歴史、文化に触れ、ふるさと青梅の魅力を再発見し、郷土愛を育成することを目的としている。内容としては、青梅市内の文化施設、自然施設での体験活動、自然の中で集団宿泊活動となっている。令和3年度については、14校が御岳山へ行った。

歳入

土地売却収入について

問 土地売却収入が増加したが、売却の方法等について伺う。
答 基本的には、最低売却価格を定め、一般競争入札を実施する。入札がなかった場合は、公募先着順による随意契約に切り替える。売却の相手について、個人法人等の制限はない。最低売却価格は、不動産鑑定士に依頼し鑑定した後、鑑定結果を参考に総務契約課で算出し、青梅市財産評価委員会に諮問し決定する。今後も、市有地の有効活用に向け、売却や民間への貸し付けなど多角的に検討していきたい。

令和3年度決算の総括
問 決算についての総括、課題および今後の取り組みについて伺う。
答 令和3年度は、12回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症に対して、諸施策を実施した。ワクチン接種については、青梅市医師会、薬剤師会の協力を得て、集団接種を実施した。また、休日夜間診療所を整備し、発熱診療、PCR検査に対応した。医療機関に衛生用品の支給を行うなど、医療体制の確保を図った。また、介護、障害福祉サービス事業所へのPCR検査を実施、学校および学童保育所へ感染症対策物品を購入するなど、クラスター発生防止に努めた。このほか、市内施設の空調・換気設備改修、トイレ改修など、感染対策を図った。市民生活に対する取り組みとしては、子育て世帯、ひとり親世帯、住民税非課税世帯等に臨時特別給付金を支給し支援した。このほか、

自宅療養者に食料品を配送、高齢者や障害者に対し買物代行事業を行った。また、地域経済対策としては、キャッシュレス決済によるポイント還元事業、新型コロナウイルス緊急対策資金融資制度、プレミアム付商品券の発行などを実施した。

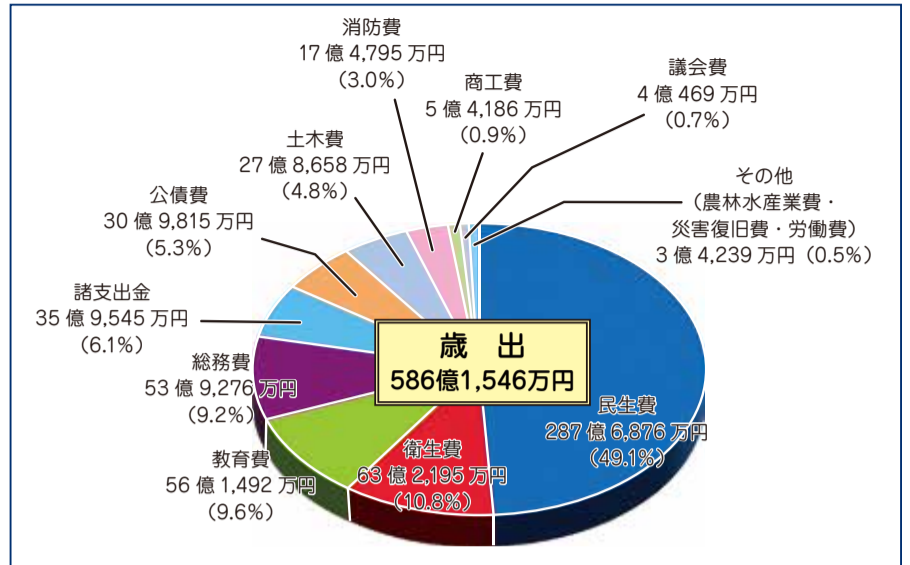
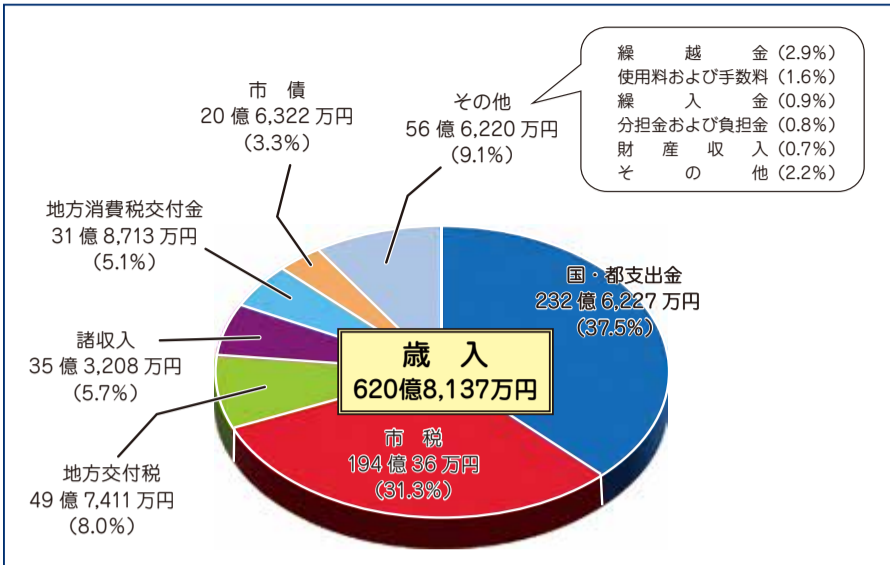
感染症が蔓延する中、デジタル化が重要となっており、小・中学校へ電子黒板の配置、議会用タブレット、庁舎窓口キャッシュレス決済対応レジを導入した。このほか、テレワークオフィスを設置する事業者や、新しい生活様式に対応するための住宅改修に対し助成した。また、市立総合病院の新病院建設における感染防止対策の追加経費に対し、繰出しを行った。

予算に掲げた重点事業では、圏央道青梅インターチェンジ北側における物流拠点の整備は、市街化区域の編入や農振農用地の除外に向け、国と東京都の農林調整協議が開始され、事業認可に向けて着実に取り組みを進めた。青梅ファン獲得に向けては、奥多摩町と連携し、東京アドベンチャープロモーション協議会を立ち上げ、SNSを開発して観光情報を積極的に発信した。吉川英治記念館事業では、ゲーム文豪とアルケミストとのタイアップやライトアップ、夜間開館を実施した。子育てと学びのしやすいまちづくりでは、保育園の園舎建て替えに係る施設整備に助成を行うとともに、新たな民間学童保育所に運営費の補助を開始し、待機児童の解消に努めた。また、

図るため、日本シングルマザー支援協会と協定を結び、子どもたちの健全な成長に向けて、協力して取り組みを進めている。学校教育については、トイレ改修や特別教室等の空調整備などを実施し、教育環境の改善を図った。デジタル教科書の導入、電子黒板の整備などICT教育の推進を図ったほか、青梅学として御岳山での校外学習を行い、青梅の自然や文化、伝統の理解を深めた。

歳入では、市税収入は、前年度から3億円の減と大変厳しい結果となったが、モーターボート競走事業については、「SGチャレンジカップ競走・GIIレディーズチャレンジカップ競走」などの開催や電話投票売上が好調に推移したことから、売上は大幅な増となり、一般会計へ26億円余の繰り出しを行った。一般会計および特別会計の実質収支はいずれも黒字決算、企業会計の純利益はいずれも黒字またはゼロであり、適正な決算となったものと考えている。

今後の市政運営は、引き続き新型コロナウイルス感染症への対策を講じつつ、市民生活の利便性向上や地域経済の活性化、デジタル化やゼロカーボン社会に向けた取り組みを推進し、人口減少や超高齢社会、公共施設の老朽化への対応など、将来を見据えた計画的なまちづくりを図っていかねばならない。これらの諸課題に対し、限られた財源の中、活力ある魅力的な青梅の実現に向け、取り組んでいく。



令和3年度に実施した主な施策

- 総務費**
 - *市制施行70周年記念式典の実施 6,221千円
 - *オリンピック・パラリンピック大会関連事業の実施 12,913千円
 - *マイナンバーカード交付の推進 84,055千円
- 民生費**
 - *青梅市自立センター感染症対策大規模修繕の実施 84,283千円
 - *住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の支給 1,390,900千円
 - *子育て世帯への臨時特別給付金の支給 1,648,400千円
- 衛生費**
 - *自宅療養者等に対する食糧支援の実施 22,863千円
 - *市民への新型コロナウイルスワクチン接種の実施 1,105,189千円
 - *リサイクルセンター基幹的設備改良工事等の実施 113,108千円
- 農林水産業費**
 - *花木園複合遊具の購入 18,700千円
- 商工費**
 - *創業者支援事業補助金の支給 12,200千円
 - *新型コロナウイルス対策観光支援事業の実施 8,606千円
 - *東京アドベンチャープロモーションの実施 4,911千円
- 土木費**
 - *都市計画道路3・5・5号線の工事 50,361千円
 - *河川補修工事(黒沢1丁目水路補修工事以下5件) 28,840千円
 - *わかぐさ公園複合遊具の購入 14,905千円
- 消防費**
 - *新型コロナウイルス感染症対策用防災備蓄倉庫の設置 13,579千円
- 教育費**
 - *小・中学校トイレ改修工事 489,512千円
 - *小学校特別教室等空調機整備工事 419,497千円
 - *小学校校舎屋上防水および外壁改修工事 135,003千円

◆各会計の決算額

会計区分	歳入		歳出	
	金額(千円)	対前年増減率	金額(千円)	対前年増減率
一般会計	62,081,371	△9.3%	58,615,463	△12.0%
特別会計				
国民健康保険会計	14,613,284	7.0%	14,392,971	6.6%
後期高齢者医療会計	3,258,501	△1.8%	3,253,190	△1.8%
介護保険会計	10,607,590	4.6%	10,512,466	5.4%
企業会計				
下水道事業会計	収益的収支 3,892,015 資本的収支 336,815	△9.0% △47.0%	3,858,113 1,810,591	△8.8% △4.1%
モーターボート競走事業会計	収益的収支 82,131,368 資本的収支 14,999	21.5% 皆増	79,584,730 74,653	19.5% △41.9%
病院事業会計	収益的収支 19,463,795 資本的収支 1,449,891	16.4% 111.6%	17,971,648 2,391,827	2.5% 19.9%

◆多摩26市平均との比較(一般会計)

区分	歳出決算額(A)	市税収入(B)	市民一人当たり市税負担(C=B/F)	市民一人当たり支出額(D=A/F)	還元倍率(E=D/C)	住民基本台帳人口(R4.3.31)(F)
青梅市	千円 58,615,463	千円 19,400,365	円 148,364	円 448,261	倍 3.02	人 130,762
26市平均	千円 70,976,166	千円 28,006,936	円 173,772	円 440,378	倍 2.53	人 161,171

監査委員の審査意見

決算審査に当たっては、決算計数が適正なものであるかを確認するとともに、予算の執行が適正かつ効果的に行われているか、各事業が経済的かつ効果的に行われているか、各基金が適正に運用されたか等について審査を実施した。審査の結果、決算審査に付された各会計歳入歳出決算書等の関係書類について審査した限りでは、法令に適合し、かつ正確であると認められた。

新型コロナウイルス感染症の収束が見えず、地方自治体を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあるが、限られた財源を有効に活用し、引き続き、事務の適正化、効率化に努められるようお願いする。

【要望事項】

①健全な行財政運営について
経常一般財源となる市税収入は、4年連続して前年度を下回り、今後の見通しにおいてもきわめて厳しい状況である。

地方交付税、地方消費税交付金の増などにより、経常収支比率は、前年度に比べ改善したが、厳しい財政状況が続く中で、職員一人ひとりがコスト意識をもって事務改善を図り、創意工夫して財政の健全化に努められたい。

②総合長期計画の策定について
第7次青梅市総合長期計画の策定に当たり、青梅市総合長期計画審議会を設置した。審議会委員には、積極的に女性委員を登用され、今後、男女平等参画社会の実現に向けた各種施策についても大いに期待するところである。

また、市民と市長との懇談会や市政総合世論調査等の結果を踏まえ、多様化する市民ニーズを的確に把握し、青梅市の明るい未来に向かって、実りある計画になることを望むものである。

③自治体DXの推進について
総務省では、デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針の実現に向け、「DX推進計画」が策定された。この計画では、自治体が重点的に取り組む施策として、自治体情報システムの標準化および共通化、マイナンバーカードの普及促進、行政手続きのオンライン化、AI・RPAの利用推進、テレワークの推進、セキュリティ対策の徹底の6つの事項が明示されている。

青梅市においては、令和4年4月からDX推進担当主幹および主査を設置し、具体的な事務事業の推進に努めている。

DXの推進は、行政サービスの向上のほか、様々な行政課題の解決にもつながることから、時機を失することなく、確実に取り組むよう要望する。

④青梅市移住・定住促進プランの推進について
青梅市では、まちの持続的な発展を目指し、「青梅市移住・定住促進プラン」を策定した。

移住希望者のニーズを適切に捉え、多様な人々にとって、自分らしい暮らしを実現できるまちとして、「おうちで実現 MyHome, MyOne」を積極的にアピールし、移住・定住促進戦略を進められたい。

⑤災害に強いまちづくりの推進について
災害に強い持続可能なまちづくりを推進していくため、「青梅市国土強靱化地域計画」を策定した。

様々な自然災害等から尊い命、市民の生活や財産を守り、防災上の弱点を明らかにした上で、本計画理念にもとづき、青梅市地域防災計画などに掲げる各計画の具体的な施策を実施、推進することとしている。

市内には災害に弱い地域が点在し、過去の災害状況から見ても、早急な対策が求められている。

強くしなやかで、持続可能なまちづくりを進め、市民の安全と安心の確保に努められたい。

⑥現金管理の適正化について
昨年、青梅市美術館事務室内の金庫に保管されていた観覧料、売上金およびつり銭資金が紛失するという事案があった。

言うまでもなく、公金は、厳重な保管と日々の厳格な取扱いが求められる。早期に解決を図るとともに、今後二度とこのような事案が発生しないよう、再発防止策の徹底に努められたい。

※一般会計の決算に対する要望事項を抜粋しました。このほか、各特別会計、公営企業会計についてもそれぞれ要望を述べられました。

一般質問

青梅市議会ホームページの議会映像配信にて一般質問のすべての内容を映像で視聴いただけます。

議員名の()内の表示は、会派名です。
(自 民) …自民クラブ
(公 明) …公明党
(フォーラム) …市民フォーラム青梅
(共 産) …日本共産党青梅市議団
(みどり) …みどりのオンブズマン
(立 憲) …立憲民主党

議員 ①整備状況、今後の旧吉野家住宅の整備の予定を伺う。
②屋根ふき替え工事の見学会の反響を伺う。
③今後の活用計画を伺う。
④旧吉野家住宅の整備、活用を踏まえた観光振興について市長の見解を伺う。
教育長 ①本年4月中旬に屋根ふき替え工事が完了し、9月6日から一般公開を開始した。今後は母屋の修理に加え、敷地内にある茶畑の撤去、駐車場やトイレの整備等を計画している。
②3日間で83人にご参加いただ

青梅市の観光振興について問う
旧吉野家住宅の整備・活用を踏まえて



天沼 明議員 (自民)



議員 ①市民や有識者・専門家による新市民ホールの懇談会の開催状況は。
②30から50年先まで残る、特色ある、青梅にしかないホールを作るべきと考えるがどうか。
③懇談会では平土間式と階段式の併設案が出たが市長の考えは。
④今後の進め方を伺う。さらなる市民参画に対する方針は。

ケミン跡地に建設が予定される新市民ホールについて問う



島崎 実議員 (自民)



屋根ふき替え工事を完了した、旧吉野家住宅

いた。感謝やお礼の言葉のほか、旧吉野家住宅で各種イベントを実施してほしい等の意見をいただき、当初の予想より反響は大きかったと考えている。
③保存活用計画の基本方針を「理解の場」、「体験の場」、「観光の場」の3つに修正した。計画の推進に向け、東京都や文化財保護審議会等とも協議しながら今後も旧吉野家住宅の整備を推進するとともに、市長部局と連携し、周辺の文化財や観光ス

ポットを結びつける等、幅広い年代の方々に親しんでいただける文化財住宅となるよう努めていく。
市長 ④旧吉野家住宅は、東部地域における観光の中心的な役割を果たしていくものと捉えている。今後は、近隣の観光資源と有機的につなぎ、観光エリアとしての魅力度を高め、「あそぼうよ！青梅」の具現化に向けた展開が図られるよう努めていく。

市長 ①今年度8月までに6回開催し、新たな施設に求められるコンセプトや、市民広場としての機能の必要性等、活発な御審議をいただいている。
②ある程度費用をかけ、将来を担う子ども達にも、素晴らしい施設として残していく必要がある。青梅産等の木材の使用等、青梅らしい施設を整備していく。
③平土間式、階段式、併設について、総合的に判断し決断する。
④10月に懇談会から報告書を受け、整備基本計画の作成に着手する。計画策定、設計の段階でも、機会を捉え、市民等からの意見聴取について考えていく。

青梅市の観光施策について問う
SNSを活用した情報発信




寺島 和成議員 (自民)



⑤今後空き家を減らすために市はどのように対応していくのか。
市長 ①所有者へ通知を送付し、適正管理を促すとともに、空家バンクの案内等を行っている。
②広報に努めるほか、今年度から、接道条件を満たさない等、市場性を有さない物件も取り扱いの対象に加えることとした。
③実施に向けた課題の抽出と整

理を進めていく。
④空き家対策の1つと考えるが、課題も多いため、現時点では他市の実施動向を注視していく。
⑤空家等対策にかかる条例を制定し、外部委員で構成する協議会で専門的かつ多角的な視点による意見をいただき、空家等対策計画に位置付けた各事業を確実に実施することで、空き家対策のさらなる進展を図っていく。

青梅市空家バンクのチラシ



①おつめ観光戦略における情報発信はどのようなか。
②東京アドベンチャープロモーション協議会について伺う。
③協議会の取り組みの成果をどう分析しているか。
④今後のSNSを活用した取り組みを伺う。
市長 ①インスタグラム、フェイスブック、YouTubeに、写真や動画を投稿し、季節ごとの青梅の魅力や行事などの観光情報を発信してきた。Omeblueをコンセプトとした観光PR動画の作成や、WEB広告の活用等のデジタルを活用した情報発信にも取り組んでいる。
②青梅・奥多摩エリアの認知度の向上を図るために、奥多摩町等と連携し令和3年6月に立ち上げた。インスタグラムアカウ

の魅力を、地域特産物、イベント情報等の情報発信を行っている。
③インフルエンサーを活用した情報発信をすることでフォロワー数の増加など一定の効果があつたと捉えている。ターゲットとして設定した都心ファミ

協議会のインスタグラムQRコード



リー層の主な年齢層である25歳から44歳が、フォロワー全体の約70%を占めていた一方で、Z世代のフォロワーの割合が6%だったことから、Z世代に対する効果的な投稿が課題である。
④さらに積極的なSNSによる情報発信に努めるとともに、より効果的な活用や、新しい媒体の利用についても研究し、市の魅力発信を図っていく。

⑤今後の活用計画を伺う。
市長 ①現行の平成25年度からの第6次総合長期計画の推進を図るために、青梅市組織条例の一部を改正する条例を上程し、計画策定1年後の平成26年度当初から、第6次計画の施策分野の体系に合わせた組織機構とした。第5次総合長期計画の際も

第7次青梅市総合長期計画の推進に向けた組織機構の再編について問う



阿部 悦博議員 (自民)



用語の解説

注1…特定空家等 (4ページ・島崎議員)
そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態または著しく衛生上有害となるおそれのある状態、適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態にあると認められる空家等をいう。
空家等対策の推進に関する特別措置法にもとづき、特定空家等として催告を受けると、固定資産税および都市計画税の住宅用地に対する課税標準額の特別措置の対象から除外される。

注2…Z世代 (4ページ・寺島議員)
1990年代後半頃から2010年頃までに生まれた世代で、企業のマーケティングにおいて注目されている。

注3…ESD (持続可能な開発のための教育) (5ページ・湖城議員)
Education for Sustainable Development の略。気候変動、生物多様性の喪失、資源の枯渇、貧困の拡大等人類の開発活動に起因する現代社会のさまざまな問題を自らの問題として主体的に捉え、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、身近な所から取り組むことで、問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらし、持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動。

注4…OPT (オピト) (6ページ・片谷議員)
オクタマ・ピカピカ・トイレの略で、奥多摩町の観光トイレを清掃する団体の愛称。

注5…公共R不動産 (7ページ・ぬのや議員)
民間企業が運営する、公共空間の情報を全国から集め、それを買いたい、借りたい、使いたい市民や企業とマッチングさせるためのウェブサイト。

注6…足立休哲 (7ページ・鴻井議員)
江戸時代に青梅市森下町に居住していた医者。名医として広く知られ、治療を求めて遠方から数多くの患者が訪れ、青梅の村人には製薬方法を伝授する等、医療を通じたさまざまな逸話が残されている。

同様である。
②現行の組織機構は、原則として、平成26年度当初から再編されたものである。その後、青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進のため、平成30年度当初から見直しが行われている。また、新型コロナウイルス感染症に対して給付金担当や、ワクチン接種担当を迅速に設置する等、社会情勢の変化や事業の進捗よく状況を鑑みながら、組織の見直しも実施している。
③策定中の第7次総合長期計画に掲げる、「10年後のあるべき姿」の実現に向け、現状の課題を改めて検証したうえで、各種の施策を積極果敢に推進していくためには、組織機構の再編も、迅速かつ効果的に行う必要がある。前例踏襲に捉われず、組織の見直しについては、計画開始と同時に令和5年度当初をスタートとする新たな組織機構の再編を実施していく。

青梅インターチェンジ北側の物流拠点整備について問う
 11月5日、6日に開催された説明会の内容に関して



迫田 晃樹議員
 (自民)

- 議員** ①都市計画法の手続きが開始されるまでの経緯を伺う。
 ②交通渋滞等への対策を伺う。
 ③雨水貯留浸透施設の雨量の想定は。地下水涵養機能が現況より増加することだがどうか。
 ④都市計画決定までのスケジュールと事業着手の予定を伺う。

市長 ①令和3年度に国と都の農林調整協議が開始され、4年度に事前調整が終了したため、都市計画法の手続きを開始した。
 ②事業区域内の都市計画道路3・4・13号線の整備により、青梅インター入口交差点が十字路の形状になり、岩蔵街道のクランクも解消され、円滑な車両通行が図られる。青梅インター入口第二交差点は周辺の住環境に配慮し警視庁と協議し、右折禁止とする方向である。

③基準では時間当たり60ミリ対応だが、90ミリに対応する能力を確保するように事業者と協議を進めている。また、工事完了後は浸透施設を設置し自区内処理を行うことで地下水の涵養機能が増加すると評価している。

ことや各地域で課題が異なり、協議体として取り組むべき課題の抽出が難しいこと等がある。
 ②現在導入に向け他自治体の事例を分析、考察しており、引き続き検討を進めていく。
 ③第9期介護保険事業計画が始まる令和6年度に向け圏域や運営体制の見直しを行うこととし、本年7月に介護保険運営委員会へ諮問した。さまざまな案について検討いただいている。
 ④庁内検討会を立ち上げ他市の事例等を研究し、市の特性にあった体制の構築を検討している。
 ⑤庁内検討会で実施体制等について協議し、現在策定中の第7次青梅市総合長期計画に併せた全庁的な組織改正の中で体制整備を進めていく。



山内 公美子議員
 (公明)

- 議員** ①生活支援体制整備事業の第2層協議体設置の状況は。
 ②介護ボランティアポイント制度の導入についての考えを伺う。
 ③日常生活圏域および地域包括支援センターの運営体制は、今後どう考えていくのか。
 ④重層的支援体制整備事業で市はどのようなものを目指すのか。
 ⑤体制を整えるには、専門人材の確保や育成、組織体制の見直しが必要となる。市長の見解は。
市長 ①現在圏域ごとに市内10か所に設置されており、地域により差があるが、活動は根付きはじめている。課題としては、メンバーが限定的で偏りがある

④順調に進めば来年度の上半期に都市計画決定できると考えており、下半期の工事着手を目標としていると聞いている。



物流拠点整備に伴う都市計画道路等の整備手法について問う

議員 ①都市計画道路等を組合施行とすることの検討状況は。
 ②都市計画道路の築造工事と電線共同溝工事の都の補助金、市の負担、組合の負担の割合は。

りの実践状況をポイント化し、そのポイントと特典を交換できることにより、健康づくりに対する動機付けを促し、適度な運動を習慣化し、健康寿命を延ばすことを目的とした事業である。
 ②アプリの活用により、以前よりも導入しやすい状況になってきていることから、他自治体の取り組みを参考に、来年度の導入に向けた検討を進めるとともに、ウォーキングマップとの連動を図る等、市独自の内容を盛り込んでいきたい。

③市と組合の費用負担の区分はあらかじめ文書で明確に定めておくべきと考えるがどうか。
市長 ①施工効率が向上することや、都の補助金を組合が活用できること等から、現在は組合施行とすることで、都や今井土地区画整理組合設立準備会、事業協力者と協議を進めている。
 ②組合が都の補助金を活用した場合は、築造工事費の2分の1が限度であり、市の負担は2分の1、組合の負担はない。電線共同溝の工事は、都の補助金限度額の範囲内で10分の10の補助率のため、基本的に市および組合の負担はない。

議員 ①以前からの更地とする案から校舎等を活用する案へ変わったがなぜか。
 ②誠明学園の移転や道の駅の設置等の案について、東京都との交渉の経過を伺う。
 ③今後実現性のあるプランにするために、どのように市民意見の集約や事業主体となりうる企業等と合意形成をしていくのか。
 ④コンサルを入れて活用プランを作成すべきと考えるがどうか。
市長 ①耐用期間が約20年あることや、有効利用について短期、中長期的な視点で改めて検討し、考えられる案を示した。現時点で明確な土地利用案、建物



明星大学青梅キャンパスについて問う
 久保 富弘議員
 (自民)

活用案として確定しているものではない。
 ②都の担当者との意見交換を行っている。誠明学園の移転については協議していない。
 ③市民意見については、利活用方針案を提示し、市民アンケート、パブリックコメント等を実施する方法が有効と考えている。企業等については、コンサル等への委託も視野に入れ対応する必要もあると捉えている。
 ④必要性は認識している。市としての利活用構想を取りまとめ、都との協議等も踏まえ、コンサルの活用を考えていく。

困難な問題を抱える女性への支援について問う
 湖城 宣子議員
 (公明)



議員 ①困難な女性支援法について市の考えを伺う。
 ②困難な問題を抱える女性へ現在どのような対応をしているか。
 ③自治体の役割への考えを伺う。
 ④基本計画の策定を検討すべきと考えるがどうか。
 ⑤民間支援団体との連携は。

の有する公益的な機能に関する普及啓発等にも活用していく。
 ②森林ボランティア育成講座を共同開催している。また、市所有林におけるカーボンオフセット事業等の実施に向け、協定締結を予定している。
 ③令和5年度以降の事業開始を目標としている。森林環境学習の場として整備を進めていく。
 ④都、特別区、森林を有する多摩6市町村で森林環境譲与税を活用した都内間連携に係る協議会の設置を進める等している。

市長 ①今の時代に合った新法の成立であり、今後の国や都の動向を注視していきたい。
 ②令和4年4月より女性相談案内窓口を開設し、相談を受け付けている。また、女性に限ってではないが、ひとり親家庭への支援を行っている。
 ③困難な問題を抱える女性の立場に立つた相談、支援等を適切かつ円滑に行えるよう努めていくことが役割と捉えている。
 ④今後定められる国の基本方針、都の基本計画の動向や計画の内容等について注視していく。

⑤日本シングルマザー支援協会と連携協定を締結した。就労支援等を行っていく。
 ⑥民間支援団体との連携は。

ESD(持続可能な開発のための教育)の推進について問う
議員 ①ESDへの市の考えは。
 ②ESDの取り組みの現状と成果を伺う。
 ③教職員向けのESDに関する研修や、手引き等はあるか。
 ④今後の取り組みを伺う。
教育長 ①各教科や学級活動、学校行事等、教育活動全体を通して、持続可能な社会の構築という視点を意識することにより、児童・生徒の意識、行動の変容につなげていく考えである。
 ②各学校で環境教育年間計画等を作成し、計画的に取り組んでいる。具体的にはヤマメの稚魚の放流活動等を行っており、児童・生徒が自分たちの役割と責任を自覚し環境に働きかける行動力が育成されたと考えている。
 ③青梅市独自では実施していないが、東京都教職員研修センター主催の専門性向上研修等に教員が参加している。都や文部科学省の手引き等を活用している。
 ④今後、各学校の教育課程編成の際、ESDの視点も踏まえて教育活動全体を見直し、改善しながら取り組んでいく。教育委員会としては、ESDを通して育成する資質・能力を意識した計画的な指導を行っていく。

②長寿命化改修を行った方が長期的にはコストが安いということも考えられるがどうか。
 ③学校を維持するということも基本姿勢を持つべきと考えるが見解は。
 ④不具合に迅速に対応するためにも全校対象の具体的な改修工事等の計画が必要ではないか。
教育長 ①今後の児童・生徒数、学級数を考慮し、学校を一部統合して適正な学級数を維持し教育環境の向上を図る必要性と市の財政状況を判断し、選択した。
 ②個別計画に沿って、老朽化対策工事も行っている。この工事によって現在の校舎を築70年まで使用できると考えている。
 ③設置予定の学校施設のあり方検討委員会の意見等も聴取し、必要により個別計画を見直ししていくが、児童・生徒を第一に思い、保護者や地域の方々の意見を踏まえ、統合等について検討することも大切だと考えている。
 ④各学校からは毎年、学校施設に係る要望を聴取し、改善要望や不具合等に対し、計画的に工事や修繕を実施している。引き続き適切に対応していきたい。

の有する公益的な機能に関する普及啓発等にも活用していく。
 ②森林ボランティア育成講座を共同開催している。また、市所有林におけるカーボンオフセット事業等の実施に向け、協定締結を予定している。
 ③令和5年度以降の事業開始を目標としている。森林環境学習の場として整備を進めていく。
 ④都、特別区、森林を有する多摩6市町村で森林環境譲与税を活用した都内間連携に係る協議会の設置を進める等している。

学校は統廃合ではなく、小規模でも地域に残す方針を
 井上 たかし議員
 (共産)



①オスプレイの飛行停止措置に対する市の対応は。
議員 ①オスプレイの飛行停止措置に対する市の対応を伺う。
 ②情報提供を要請する必要があると考えるがどうか。
 ③市長の横田基地のオスプレイに対する認識を伺う。
 ④今後の他自治体との連携は。
市長 ①防衛省北関東防衛局長、横田基地司令官に対し、安全確保の徹底について要請した。
 ②北関東防衛局へ、市民の安全に関する情報は基地に隣接する自治体と同様に迅速かつ詳細に提供するよう今後も求めていく。
 ③政府が示したとおり、日米同盟の抑止力、対外力を向上させ、日本の防衛およびアジア太平洋地域の安定に資するものと認識している。
 ④安全対策の徹底や説明を求めするため、10月に青梅市、あきる野市、日の出町の担当が横田基地を訪問し、米軍へ直接的な働きかけができるよう横田防衛事務所を通じ準備を進めている。

任を自覚し環境に働きかける行動力が育成されたと考えている。
 ③青梅市独自では実施していないが、東京都教職員研修センター主催の専門性向上研修等に教員が参加している。都や文部科学省の手引き等を活用している。
 ④今後、各学校の教育課程編成の際、ESDの視点も踏まえて教育活動全体を見直し、改善しながら取り組んでいく。教育委員会としては、ESDを通して育成する資質・能力を意識した計画的な指導を行っていく。



オスプレイの飛行停止について市の対応は

①オスプレイの飛行停止措置に対する市の対応を伺う。
 ②情報提供を要請する必要があると考えるがどうか。
 ③市長の横田基地のオスプレイに対する認識を伺う。
 ④今後の他自治体との連携は。
市長 ①防衛省北関東防衛局長、横田基地司令官に対し、安全確保の徹底について要請した。
 ②北関東防衛局へ、市民の安全に関する情報は基地に隣接する自治体と同様に迅速かつ詳細に提供するよう今後も求めていく。
 ③政府が示したとおり、日米同盟の抑止力、対外力を向上させ、日本の防衛およびアジア太平洋地域の安定に資するものと認識している。
 ④安全対策の徹底や説明を求めするため、10月に青梅市、あきる野市、日の出町の担当が横田基地を訪問し、米軍へ直接的な働きかけができるよう横田防衛事務所を通じ準備を進めている。



健康ポイント事業について問う

議員 ①健康ポイント事業の内容を伺う。
 ②市民が気軽に健康づくりに取り組めるよう健康ポイント事業を導入してはどうか。
市長 ①日々のウォーキングやイベントへの参加等、健康づく

市内のナラ枯れの被害について問う

山田 敏夫議員 (自民)



議員 ①市内の丘陵で急速にコナラの木が枯れているようにだが、その原因を伺う。

②市が管理する公園や緑地などでの対応状況、広報やホームページ等での周知について伺う。③市は民有林のナラ枯れに対し、どのように対応するのか。市長 ①カシナガと呼ばれる甲虫が媒介する樹木の伝染病によるものである。放置林となり、カシナガが繁殖しやすい森林環境になったことがナラ枯れの大きな要因であると考えられる。

高齢者の交通手段に係る支援(タクシー利用補助)について問う

山崎 哲男議員 (自民)



議員 ①高齢者の交通手段としてタクシー利用がどの程度あるかを把握しているか。②タクシー利用補助等を行う予定はあるか。

③新たに策定する地域公共交通計画では、高齢者のタクシー利用に関してどのような検討を行っているのか。市長 ①頻度は把握していないが、新型コロナウイルスワクチン集団接種会場において、65歳以上の方が帰宅する際のタクシー費用の一部助成の実績は、令

災害時における要配慮者への個別支援計画策定などについて問う

藤野 ひろえ議員 (共産)

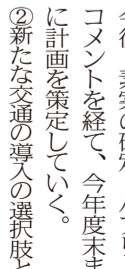


議員 ①高齢者や障害者等の個別支援計画の作成状況、課題を伺う。②計画作成における福祉専門職との連携に対する市の考えは。

③福祉避難所への直接避難と避難所を身近な所へ増やすことをどう考えるか。④市内要配慮者利用施設の避難確保計画、計画に基づく避難訓練の実施と報告の現状を伺う。市長 ①避難行動要支援者名簿の同意確認等の情報を基に順次作成している。自主防災組織等の意見を取り入れ、より効果

多摩地区のコミュニティバス、デマンドタクシーの導入状況、自治体の負担状況を伺う。

市長



①計画策定に向け、施策の骨子案等について協議した。今後、素案の確定、パブリックコメントを経て、今年度末までに計画を策定していく。

②新たな交通の導入の選択肢として、デマンド型交通等も含め、利便性、効率性の高い持続可能性を検討し、公共交通空白地域・不便地域の解消に向け取り組んでいく。③コミュニティバスは23市で、デマンドタクシーは近隣では武蔵村山市で本格実施されている。どちらも収支はマイナスである。④法令で、定量的な目標の設定に努める旨の定めがあり、これを踏まえて策定を進めている。



青梅駅前再開発事業―市民の税金を投入するならば精密な検証を―

ひだ 紀子議員 (みどり)



議員 ①青梅駅前に14階建てビルを建築する再開発事業に市が3億7千万円支出する根拠は。②1階商業用区分と2階の市立図書館等が入る公益床の賃料が4割値上がりしているが見解は。③市は公益床について購入と賃賃を比較検討しているか。④スーパの誘致を実現することはできないか。⑤再開発により市に入る固定資

産税の見込みを伺う。市長 ①国の交付金の割増しを受けられなくなったこと等を認め、市としても重要な事業であると認識していることから、市単独補助金を検討している。②賃料単価は組合が現在検証中であり、まだ決まっていない。③市にとってより良い条件となるようさまざまな観点から検討している。

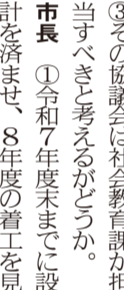
今井4丁目物流拠点開発と周辺地域の浸水対策等について問う

議員

①近年時間当たり60ミリを超える降雨が増えているが、どのような対応を考えているか。②今井3丁目地内の浸水の危険

新市民ホールはいつできるのか―多様な市民参加による検討協議会の設置を―

議員



性に対応するために、東京都と埼玉県に相談等はしているか。③事業用地内の雨水流出抑制施設は各企業の管理となるが市はどう対応していくのか。④市と準備組合で地元の方への説明会を開くべきと考えるか。市長 ①道路上の雨に対し、時間当たり90ミリの貯留・浸透能力を確保する雨水調整池を配置し、区域外への流出抑制を図ることで、事業者と協議している。

公式キャラクター「ゆめうめちゃん」の活用について問う

議員

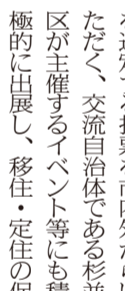
①ゆめうめちゃんの今年度の新たな取り組みを伺う。②これまでの活用の成果を伺う。③ゆめうめちゃんの認知度向上にどう取り組んでいくのか。市長 ①好評だったLINEスタンプの第2弾制作に取り組んでいる。②ゆめうめちゃんをさまざまな事業に広く活用することで、メ



ゆめうめちゃん

ディアにも取り上げられ、市民の地域への愛着を育むとともに、篠原ともえさんの知名度と相まって市の認知度やイメージの向上が図られていると捉えている。

市長



③スタンプ第2弾のデザイン案を選定する投票を市内外からいただく、交流自治体である杉並区が主催するイベント等にも積極的に出展し、移住・定住の促進を踏まえた視点での魅力発信を行っていく。さまざまな取り組みを通じて、ゆめうめちゃんのグッズを戦略的に活用することにより、青梅市の認知度とイメージを向上させるとともに、市内外の多くの方に訪れたい、暮らしたい、住み続けたいと思っただけのまちづくりを推進していく。

市の公共トイレについて問う

片谷 洋夫議員 (フォーラム)



議員 ①洋式化したことにより、狭くなった個室トイレがあるが改善してはどうか。②尿漏れパッド等を廃棄するため、男性トイレにもサニタリーボックスを設置しては。③奥多摩町ではOPTという団体が日本一の観光トイレを目指し清掃活動している。この取り組みを青梅市でも導入してはどうか。

多摩川でのレジャー―バーベキュー等のごみ、釜の淵の今後、ライフジャケットの推奨など―

議員

①多摩川でのごみの回収状況、費用は。②ごみの持ち帰り等の看板が乱立し景観を乱している。改善し



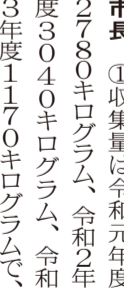
釜の淵公園周辺の多摩川



ごみの持ち帰り等の看板

多摩川でのレジャー―バーベキュー等のごみ、釜の淵の今後、ライフジャケットの推奨など―

議員



④コンビニと連携し、コンビニのトイレを公共化してはどうか。市長 ①施設の大規模修繕時に改善を図っていく。②今後、設置場所や数など他自治体の状況について情報収集し、設置に向け取り組んでいく。③奥多摩町の取り組みを研究し、よりきれいなトイレ環境の提供に努めていく。④市民や観光客へのサービスの拡充につながることを考えるため、他自治体の取り組み状況等を情報収集していく。

多摩川でのレジャー―バーベキュー等のごみ、釜の淵の今後、ライフジャケットの推奨など―

議員

①多摩川でのごみの回収状況、費用は。②ごみの持ち帰り等の看板が乱立し景観を乱している。改善し

青梅市公共施設再編計画で使用しなくなった建物についての民間連携の推進について
 旧釜の淵市民館、旧沢井保健福祉センターを中心に



ぬのや 和代議員 (立憲)

議員 ①統廃合により使用されなくなった公共施設を全国の自治体はどのようにしているか。
 ②公共R不動産のようなデータベースを利用してはどうか。
 ③2億円以上かけての旧釜の淵市民館解体は考え直すべきでは。
 ④公共R不動産で旧沢井保健福祉センターの借り手を募っては。
市長 ①用途を変えて自治体が

青梅市内の空き家問題について



おしお 利明議員 (フォーラム)

議員 ①平成25年と令和3年に行った空家等の調査を踏まえた現状と今後の対応を伺う。
 ②他市の事例を研究しては。
 ③空き家の民間活用を進める施策が必要ではないか。
市長 ①空き家数はやや減少しているが現状千棟以上の空き家があり、今後増加していくと見込んでいる。今後、市が進める空き家対策を明確にし、市民や事業者と連携して取り組むことができるよう、青梅市空家等対策計画を改定した。この計画で

再利用、民間への貸し出し、売却、更地にして土地を再利用等がある。民間事業者と連携し、再利用している施設の例もある。
副市長 ②市有地売却等には利用しているが、建物には利用していない。活用は研究していく。
 ③十分に検討を重ねた結果、更地にして釜の淵エリア一帯としての具体的な活用について検討していくこととした。今年度から解体する予定である。

ゼロカーボンシティの取組について

議員 ①市庁舎のZEB化について検討状況を伺う。

②第7次青梅市総合長期計画にゼロカーボンシティのロードマップを取り入れてはどうか。市の2030年二酸化炭素排出量削減目標を55%位にしたらどうか。
市長 ①改修の必要性の調査等が必要であり、改修には多額の費用がかかる等、さまざまな課題があることが明らかとなった。引き続き研究を進めていく。
 ②ゼロカーボンシティの実現に向けた方向性を示す。ロードマップとなる「実施計画」の検討を始めた。なお、平成27年策定の第2次青梅市環境基本計画では40%削減することとしている。
 ③本年7月、青梅ガス(株)・株主INPEXと包括連携協定を締結した。再生可能エネルギーの導入推進等、民間企業の知見や技術を生かし各種施策に取り組む。

青梅市公式動画チャンネルについて

議員 ①現在の動画配信の運営方法と体制を伺う。

②先行自治体を研究しては。
 ③動画配信にもっと力を入れて取り組むべきと考えざるがどうか。
市長 ①動画は担当課で作製しているが、広報担当も編集等の作業を連携して行い、ホームページに掲載する際は、その動画を確認のうえ、ユーチューブサーバーを利用して掲載している。



青梅市公式動画チャンネル

方針のもと、各種事業を今後着実に実施し、空き家問題の解消に向けて取り組んでいく。
 ②先進事例の把握に常に努めており、計画改定の際には、他自治体の事例を参考とし、新たな事業の追加や拡充を図った。
 ③令和2、3年度に1件ずつ、民間事業者が行う古民家活用事業へ支援している。今後も、市内の空き家状況の情報収集により一層努めるとともに、効果的な支援策について研究していく。

総合体育館トレーニングルームを女性、高齢者にも気軽に使える工夫を!

議員 ①トレーニングルームの年間利用者を伺う。

②トレーニングマシンの使い方イラスト化し掲示しては。
 ③初心者等が使いやすい油圧式マシンを取り入れてはどうか。
 ④高齢者や障害者が利用しやすいよう内履きと外履きのエリア分けについて再検討を。
市長 ①コロナの影響が出る前の令和元年度の年間の延べ利用者数は5万7921人である。
 ②写真つきでの使用方法、どの部位の筋肉に効果があるかを記載した分かりやすい説明書を各マシンに据えつけている。
 ③指定管理者と協議しながら研究していく。
 ④トレーニングルームの出入口

青梅市の歴史記録のデジタルアーカイブ化について

議員 ①デジタル技術を使った文化歴史に関する資料の保存と継承についての取り組みを伺う。

②研修会等で動画配信の有効性や取り組み方を学んでいる。また、他自治体等の動画を視聴、研究し、自治体による特色や素材の扱い方、編集方法等の工夫について、参考としている。今後も積極的に取り組んでいく。
 ③全職員で動画配信の有効性を共有するとともに、全庁的な連携を強化し、より多くの方に視聴いただけるよう分かりやすく、魅力的な動画配信に努めていく。
教育長 ①収蔵品管理システムを導入し、市公式ホームページから、収蔵品データベースにリンクし、主な収蔵品を閲覧できるようにしている。今年度はスマホアプリ「ポケット学芸員」活用の準備を進めている。
 ②財政担当や関係部署と協議し、積極的に活用していく。
 ③引き続き庁内で連携し、歴史記録のデジタルアーカイブ化を推進する。また、郷土史家や市民からの体験談等を聴き、その保存、活用に努めていく。

周辺には防火扉や屋内消火栓があるため、構造的な改善は困難だが、バリアフリーで履き替えができる環境である。

コロナから命と暮らしを守る取組について

みねざき 拓実議員 (共産)

議員 ①総合病院のコロナ患者受け入れて一般診療等に影響は。
 ②国へ医療機関への財政支援の強化、東京都へ保健所機能の強化を求めるべきでは。
 ③感染者への食料支援の現状は。

④高齢者、障害者施設で頻回にPCR検査を実施すべきでは。
 ⑤4回目接種はすべての人が接種できるように拡充すべきでは。
 ⑥事業者へ給付金支給による支援を再度実施すべきでは。
 ⑦学校は今までもおり感染者が出たら学校閉鎖とすべきでは。
病院事業管理者 ①コロナ病棟転用に伴い一般病床が減床し予定手術の延期等の影響があった。
市長 ②国へ求める考えはない。都へは市長会から要望している。
 ③個別に状況を伺い、濃厚接触者も含め手厚く支援している。
 ④都が対応しているため、市で実施する考えはない。
 ⑤医療従事者等以外のエッセンシャルワーカー等への対象者の拡充は、国が認めていないことから、考えていない。

通学路などの安全対策について

議員 ①第三小学校前のガードパイプや第三中学校前の道路の拡幅等の安全対策への考えは。
 ②ゾーン30に対する考えは。
 ③通学路等へのハンブの設置を検討してはどうか。

⑥給付金支給は検討していないが、新型コロナウィルス緊急対策資金の融資を令和4年9月末まで延長して実施している。
教育長 ⑦国等のガイドラインを参考にし、学校医の助言を受け、協議し決定していく。

障がい者、高齢者に優しい政策を

鴻井 伸二議員 (公明)

議員 ①日常生活用具給付事業、特に情報・意思疎通支援用具については、施設入所者も給付対象にできないか。
 ②視覚障害者同行支援事業の利用時間は施設入所者も各サービス等利用計画に沿って決定するのか。
 ③障害者グループホームの虐待を防ぐためにも虐待防止条例を早期に制定すべきと考えざるがどうか。
 ④マイナンバーカードを活用したタクシー運賃補助の実施を公共交通協議会で検討しては。

議員 ①第三小学校前のガードパイプや第三中学校前の道路の拡幅等の安全対策への考えは。
 ②ゾーン30に対する考えは。
 ③通学路等へのハンブの設置を検討してはどうか。
市長 ①さらなる安全対策としてS字カーブの改善等を毎年西多摩建設事務所に要望している。
 ②自治会やPTA等からの要望

⑤国や都へ、福祉施設が多い、青梅市の実情を訴え、財政支援を求めていくべきでは。
市長 ①他市と同様に財政負担の面からも慎重に判断すべきと考える。国や東京都の動向を注視し、適切に対応していく。
 ②そのとおりである。計画を作成する事業所には利用者の意向を十分聞き取るよう伝えていく。
 ③地域自立支援協議会内の差別解消支援地域協議会に条例案を示し意見を聞いていく。今後早期に制定できるよう進めていく。
 ④経済性、利便性、汎用性等を十分に勘案し、選択肢の1つとして検討していく。
 ⑤今後も引き続き国や都にあらゆる機会を通して要望していく。

市の表玄関にふさわしい東青梅駅への建て替え等について

議員 ①東青梅駅の建て替え、線路工事の状況を伺う。
 ②表玄関にふさわしいデザイン

②戦時中に都立日比谷図書館等から青梅へ蔵書の一部が疎開されていたことについて、市民や小・中学生に伝えてほしいが。
教育長 ①ほころが民有地にあることから、土地所有者、地元関係者とも慎重に相談していく必要があると捉えている。
 ②図書館の企画展の中で紹介できるよう指定管理者と協議していく。小学校の授業でも取り上げていく。

市の貴重な歴史の伝承を一休哲様、図書疎開など

議員 ①足立休哲様のほころが昨今の大雨で崩れてしまっている。地元の方とも連携し、なんとか保存できないか。



現在も休哲様がある、森下町に祀るほころ



を踏まえ、青梅警察署と連携して対応している。
 ③青梅警察署の指導により、道路状況や周辺環境等にも十分配慮し、車両の安全性も考慮する必要があると捉えている。
教育長 ④対策必要箇所は計81箇所。早期に対策可能なものは対応済みで、時間を要するものは安全指導等の対策を実施し、関係機関と協議を継続している。

審議された議案および陳情の議決結果

◆賛否が分かれた議案および陳情◆

[○…賛成 ×…反対 欠…欠席]

Table with columns for district, proposal number, proposal name, decision result, and 24 council members' votes. Includes items like '令和3年度青梅市一般会計歳入歳出決算' and '青梅市立美術館での展示作品の選定に関する陳情'.

*会派の表示は次のとおりです。[自民…自民クラブ(無所属8人、自民党3人)、公明…公明党(4人)、市フ…市民フォーラム青梅(3人)、共産…日本共産党青梅市議団(3人)、みどり…みどりのオンプスマン(1人)、立憲…立憲民主党(1人)]
*氏名の上の番号は、議席番号です。
*議長は表決には加わりません。
※1…「趣旨採択すべき」との委員長報告に対し、賛成多数で「趣旨採択」と決したものと ※2…「不採択すべき」との委員長報告に対し、賛成多数で「不採択」と決したものと

◆全会一致で可決、認定または同意された議案◆

Table with columns for district, proposal number, proposal name, and decision result. Includes items like '令和4年度青梅市一般会計補正予算(第5号)' and '令和3年度青梅市下水道事業決算'.

◆全員賛成(※)で不採択となった陳情◆

Table with columns for district, proposal number, proposal name, and decision result. Includes '障がい者福祉課による不支給決定について再考の陳情'.

※「不採択すべき」との委員長報告に対し、全員賛成で「不採択」と決したものと

Informational section with vertical text boxes and graphics. Topics include '全員協議会から(9月15日)', '特別委員会から(9月16日)', '東青梅1丁目地内諸事業用地等特別委員会(6月21日)', and '新型コロナウイルス対策特別委員会(9月16日)'.

◆令和4年青梅市議会定例会12月定例会会議予定◆

Table with columns for date, time, meeting name, and notes. Meetings include '本会議', '常任委員会', '予算決算委員会', and '委員会審査報告等'.

○会議予定は、変更になる場合がありますので、お問い合わせいただくか、青梅市議会ホームページでご確認ください。
※傍聴のお問い合わせ：議会事務局(内線2202)
○本会議の様子はインターネットで生中継および録画の中継により配信しています。
○本会議録および委員会録は、会議録検索システムで閲覧できます。

市議会ホームページ QRコード



Graphic with text: '贈らない 求めない 受け取らない' and '政治家、有権者の方々へ 政治家が、選挙区内の人にお金や物を贈ることは法律で禁止されています。また、有権者が政治家に寄付を求めたことも禁止されています。'.